

横浜市立大学附属病院 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

研究課題名	脊髄神経膠腫の病理学的研究	
対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者		
対象者:1994年1月から2021年12月までに脊髄腫瘍に対して手術を行い、病理診断が脊髄神経膠腫とされた症例		
過去の研究課題名:なし		
代表責任者	新潟大学脳研究所病理学分野	田中 裕貴
当施設責任者	横浜市立大学分子病理学	藤井 誠志
研究分担者	新潟大学脳研究所病理学分野	柿田 明美
	新潟大学脳研究所脳神経外科	棗田 学
	新潟市民病院病理診断科	橋立 英樹
	埼玉医科大学病理学	佐々木 惇
	横浜市立大学分子病理学	伊藤 絢子
概要		
<p>脊髄神経膠腫は中枢神経系全体の神経膠腫の7.5%と非常に稀な疾患であり、頭蓋内神経膠腫に比べて病理学的特徴について明確な知見がありません。そのため明確な治療指針がなく予後不良です。2016年および2021年に改定された世界保健機構(WHO)脳腫瘍病理ガイドラインでは、分子病理学的特徴により診断が細分化されました。脊髄神経膠腫における臨床的特徴、免疫組織化学的検査を用いた病理学的特徴を解析することで治療成績の向上や新たな標的治療の発見につながる可能性があると考えます。本研究の目的は、過去に手術で摘出された腫瘍について新たな解析を行い、臨床経過と合わせることで予後不良因子や病理学的特徴を同定することです。</p>		
申請番号		
研究の目的・意義	<p>本研究では脊髄神経膠腫について、病理組織学的な再評価や新たな免疫染色を追加し、後ろ向きに検討することで発生機序や予後規定因子を明らかにします。脊髄神経膠腫は明確な治療指針がなく予後不良な疾患であり、予後予測因子の同定はメリットが大きいと考えます。</p>	
研究期間	倫理委員会にて承認された日にちから2026年3月末まで	
情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	<p>電子カルテに保存されている病歴及び画像を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。</p>	
利用または提供する情報の項目	<p>病歴(生年月日、性別、手術日、神経症状、MRI・CT所見、手術での腫瘍摘出の程度、生命予後、再発の有無、化学療法実施の有無、放射線療法実施の有無)および病理学的所見</p>	

利用の範囲	新潟大学脳研究所 病理学分野
試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学脳研究所 病理学分野 教授 柿田 明美
お問い合わせ先	新潟大学脳研究所病理学分野 025-227-0636 pathjim@bri.niigata-u.ac.jp

【横浜市立大学附属病院 問い合わせ先】

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学分子病理学(研究責任者) 藤井 誠志

電話番号:045 - 787-2800(代表)